



一般社団法人

# 富山県作業療法士会 ニュース

平成24年度 No.2

第 105 号 平成24年 8月10日

発行 富山県作業療法士会

会長 田 村 良 子

印刷 (株) チ ュ ー エ ヅ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：470人

## 生涯教育制度の運用 - 富山県士会での現状と課題 -

富山県作業療法士会 教育部 谷口 利香

日本作業療法士協会の生涯教育制度は、現在の制度になって10年目になりました。

基礎研修である現職者研修（現職者共通研修、選択研修）は、新人作業療法士が卒業後、専門職として初めて受けるべき内容のものであり、協会が各県士会に委託しています。

私が富山県士会の教育部として、生涯教育に関わるお仕事をさせていただき、6年が経過しました。その中で、現在感じている事をお伝えしたいと思います。

まず、現職者研修についてです。富山県作業療法士会教育部では、新人さんが卒業1年間で現職者共通研修を修了できるように研修の企画、運営を行っています。新人OTの方は、県士会ホームページなどで研修日時をチェックし、忘れず受講してもらいたと思います。そうすれば、1年間で生涯教育制度の基礎部分である現職者研修が終了となるはずですが、しかし現状は、研修10テーマのうち、必須講義9個のテーマ受講が終了していても、『テーマ9：事例報告』が、未発表のために現職者共通研修が終了になっていない方が多く残っています。教育部としては、今年度は『テーマ9：事例報告』に力を入れて、現職者共通研修の修了者を増やしたいと考えています。そこで、新人OTの方にはお願いですが、教育部員から『テーマ9：事例報告』発表について打診があった場合、自分からすすんで発表してください。

さて、話が矛盾するようですが、先日、全国の生涯教育推進委員会の場で、富山県は基礎研修修了者の割合（＝県士会員数に対する基礎研修修了者の割合）が、全国1位だったそうです。県士会員のみなさんのまじめな気質と研修に対する意識の高さがその結果につながっていると感心しました。それと同時に、これまで教育部員が研修を企画運営し、新人OTさんにアナウンスをしてきた成果によるものと（手前みそですが）自負しています。

それに比べて、認定作業療法士数はどうでしょうか？認定作業療法士の割合（＝県士会員数に対する認定作業療法士数の割合）は全国7位で、まあまあ上位には間違いありません。しかし、富山県の認定作業療法士数は9名で、隣の石川県31名に比べると、絶

対数が圧倒的に少ないように思います。つまり、基礎研修を修了した人は多いのですが、その上のステップ、認定OTにトライする人が少ないのが現状です。

認定OTを目指す上で一番大変な事は何かというところ、協会の『事例報告登録制度』にエントリーし、合格することだと思います。手順としては、協会のホームページ上に各自のID・パスワードで入力、登録の申請をします。その後は、協会の事例審査委員会が審査し、合否が決まります。合格の場合は、事例報告がデータベース上にオンライン登録されます。残念ながら不合格の結果になった場合は、不十分な内容について、コメントが書かれてきます。

（私の印象では、審査は落とすための評価ではなく、足りない点を補足し、一定のレベルに近づけるための評価だと感じました。ですから、コメント内容をよく読んで、不十分な点を修正すれば、十分合格する可能性があると思います。）皆さんは、エントリーする前に、「事例をまとめるなんて大変だ」「自分はエントリーしても受からない」などと、尻込みしている方が多いのではないのでしょうか？書く前にあきらめるのではなく、まずは、自分の対象者や日々のセラピーを大切に、目の前の一人の対象者をまとめてみませんか？そのまとめていく過程が、きっと、忘れていた事や気づかなかった事を再学習する機会になると思います。「難しい貴重な症例の紹介」や、「特別セラピーの経過」を書く必要はありません。毎日の臨床での対象者との関わりが事例報告になり、一人ひとりの作業療法士の事例報告の積み重ねがエビデンスとなり、しいては作業療法の成果を世間にアピールすることにつながるのだと思います。

県士会員の皆さん、自分自身のスキルアップ、ステップアップのため、是非認定OTを目指して下さい。「意識」を少し高く持って、「あきらめずに頑張る気持ち」があれば誰でも認定OTになれます。教育部としても、富山県作業療法士会員に認定OTが増えていく事をとても期待しています。

生涯教育制度について、協会の生涯教育部ホームページを熟読してみてください。ホームページを読んでもよくわからない点がありましたら、私の方でお答えできることもあるかと思うしますので、谷口までご連絡ください。

# 日本作業療法学会開催

## 「日本作業療法学会に参加して」

高岡駅南クリニック 中沢 知子

6月15日から17日まで宮崎県にて開催された第46回日本作業療法学会に参加・発表してきました。

昨年8月末に協会理事で大阪大学附属病院の高島千敬先生より、オーガナイズドセッション内部障害分野で透析について発表してほしいとの連絡をいただきました。正直、依頼内容が昨年まで勤務していた職場で行っていた内容であり、その現場を離れた者が発表していいのかと悩みましたが、学生時代の恩師の富岡詔子先生より「その現場を離れて初めて気付いたこともあるでしょ。やってみなさい。」とのアドバイスもあり引き受けさせていただくこととなりました。

2日目の最後の時間帯のセッションでしたが、300席の会場は満席でさらに通路も埋まる大入りでした。高島先生その他、静岡がんセンターの田尻先生、埼玉医科大学付属病院の鈴木先生、東京慈恵会医科大学付属病院の吉澤先生と全国各地から集まった5名でのセッションで当日1時間半前の顔合わせと簡単な打ち合わせだけでスタートしましたが、予想以上に時間配分・役割分担を順調にすすめることができました。私自身は演者席に立ち発表している間は大御所の方々が前方座席を陣取っておられたこともあり会場の方々の顔を見る余裕もなく、スライドをみて話をするだけで精一杯でした。それぞれの発表終了後は会場から活発に質問があり、またセッション終了後もたくさんの方から質問やご意見をいただき、貴重な体験となりました。

今回は富山県士会員からの発表も例年より多く、学会1日目は富山県士会員で楽しい夜を過ごさせていただきました。また、前日入りした14日から16日まで毎晩たくさんのOTの方々と語り合い、宮崎の美味しいものを食べ有意義な時間を過ごすことができました。

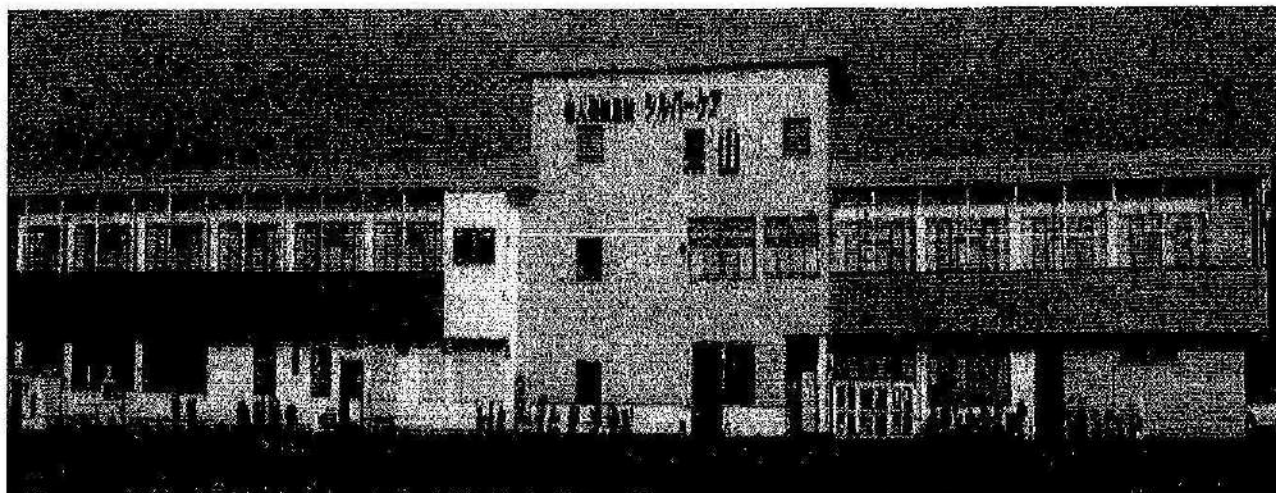
今回の発表にあたり、お忙しい中で協力いただいた富山県腎友会会長水本様、他ご支援・ご協力してくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 「第46回日本作業療法学会に参加して」

黒部市民病院 佐々木真友美

平成24年6月15日から17日の日程で宮崎県のシーガイアコンベンションセンターで開催されました。宮崎市内ですが、市街地から車で30分のリゾート敷地内になり、シェラトンやゴルフ場と隣接している素晴らしい環境でした。

学会のテーマは「健康な生活を創造する作業療法の科学～その技（わざ）と愛（こころ）を次世代へ～」で学会長は東祐二先生でした。内容はオーガナイズドセッション、口述発表、ポスター発表、アピール企画等があり、1000題を越える演題の発表がありました。各セッションに座長が配置され、活発なディスカッションが行われていました。私は参加だけではなくポスター発表をさせて頂きましたが、初めての発表ということで…川越シェフのレストランでランチを食べ、青島神社で貝を転がし、鶴戸神社で運玉を投げ、どしゃぶりの中モアイ像を触りに行ったお陰で発表は無事に終わることができました。ということで、宮崎地鶏とチキン南蛮、メに冷汁を頂きました。今回、CI療法と反復電気刺激を併用した症例について報告を行いました。あまり聞きなれない方も多いと思いますが、CI療法は脳の可塑性の観点から上肢機能の改善を促す治療法で、反復電気刺激は物理療法です。今回の症例を担当するまで、実はどちらにも関心は無く半信半疑でしたが、成果が得られたので観念に囚われずチャレンジして良かったと思っています。どちらも根拠のある治療法ですので、興味のある方は話しかけて下さい。健側上肢を縛ったり、ただ低周波を当てれば上肢機能が回復するわけではありませんので、ご注意を。参加者としては、高次脳機能障害やハンドセラピー、促進反復療法等の演題を中心に聞いてきました。私の感想は、研究に熱心なOTが全国に物凄く沢山おられたことです。1日中、「へえ～、へえ～」と関心してばかりでした。そして、もっと勉強しなくては～！とパッションをもらって富山県へ帰って来ました。



こんにちは。

ぼくは、ピンクの帯が目印のシルバーケア栗山です。今年でハタチになりました。ますのすしミュージアムがご近所さんです。

皆さん、ぼくんちに遊びにきたことはありますか？ありません…よね。少し自己紹介させてください。

栗山は2階建てで、1階にはリハビリテーションルーム、通所リハビリテーション、浴室などがあります。居宅介護支援事務所、新保・熊野地域包括支援センターが併設されています。

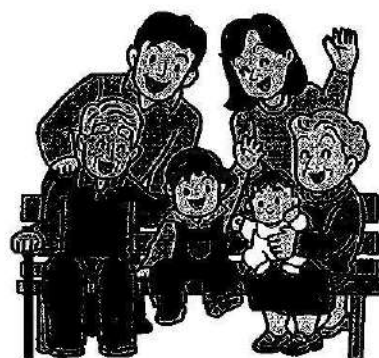
2階は入所者様のお部屋となっていて、100床あります。

ぼくんちでは、夏に納涼祭、秋に運動会があります。納涼祭では、毎年テーマを決め、テーマにちなんだ食べ物を食べてもらったり出し物をしたり、みんなでワイワイ楽しめます。運動会では、

「みんなで力を合わせて綱を引きます。」（復習！）←注：綱引きはしていません。最近一番盛り上がっているのは、仮装レース!!利用者様やご家族様がおちゃめな格好をして、たくさん笑わせてくれます。そして、利用者様の普段以上の真剣な姿に、心が打たれます。

さて、ぼくんちのリハビリスタッフの紹介をさせてもらいます。作業療法士は4名、「一升瓶の回し飲みが大得意」酒好きOT、「も〇クロ」LOVE!なOT、「私の体はお菓子と寂しさで出来ている」と言うOT、「出したものを片づけられない」新米ママOTがいます。そして、理学療法士1名、リハ助手3名がいます。みんなホントよく食べ、うるさいくらいにしゃべり、笑いが絶えない職場です。

遊びに来たことのある人もない人も、ぜひぼくに会いに来てくださいね。待ってまーす♪





平成23・24年度

## 富山県訪問リハビリテーション研修会（Step2）開催

矢野神経内科医院 菱田 仁子

去る平成23年12月に行われた富山県訪問リハビリテーション研修会(Step1)に引き続き、今回の研修会(Step2)が平成24年6月30日(土)・7月1日(日)に富山医療専門学校において開催されました。

この研修会は、訪問リハビリテーションを病態にかかわらず各地域で提供できる最低限の資質を身につけることを目標とし、実際に訪問リハビリテーションに従事している方をはじめ、興味のある方も対象です。職種はリハビリスタッフやその他の職種の方も参加可能です。

今回の(Step2)の参加者数は全体で56名(PT28名・ST6名)、OTは22名でした。内容は介護保険制度、スキンケア・排泄ケア、面接技術についての講義とセラピストとして評価すべき内容をテーマにしたシンポジウムでした。シンポジウムでは訪問リハビリテーションに従事しているP

T・OT・STからの報告の後、田村茂座長のもと有意義な意見交換が行われました。

最後はグループ毎に分かれ、1症例の訪問リハビリテーションにおいて、自分ならどのように評価をしてどのような支援を行うのかを、先のシンポジウムで報告のあったICFの考え方に基づき話し合われ、その後各グループの内容が紹介されました。

今回の研修会は、平成24年12月に予定の(Step3)までで一区切りとなっております。

今回の内容は救命救急法(概論・技術)ケアマネジメント、栄養管理等の予定です。

研修会(Step1)(Step2)の参加・不参加に限らず、参加可能です。

対象者の在宅生活を考える上で役立つ内容なので参加されてみてはいかがでしょうか。

## 訪問リハビリテーション研修会に参加して

### ～訪問リハビリに必要な目線と考え方～

矢野神経内科医院 井上 藍子

H24.6.30、7.1に訪問リハビリテーション研修会のStep2が行われました。

今回、私は初めての参加で、訪問リハビリも未経験なのですが、とてもわかりやすく、心に残る講義でした。

シンポジウムでは、PT・OT・STのそれぞれの目線から評価、プログラム、アプローチの流れを発表されました。

大まかな考え方として、ICF分類を軸とし、急性期や回復期では、健康状態、心身機能・身体構造、活動に主に着目してアプローチを行います。しかし、訪問リハビリでは、健康状態、心身機能・構造の安定があり、そこから主に活動、参加、環境因子、個人因子に着目して行っていきます。

その人らしい生活を維持・向上することが生活基盤や健康を安定させ、健康状態、心身機能・身体構造、活動、参加、環境因子、個人因子の各項目全てが相互に密着しているということを学びました。

また、患者さんの生活しておられる環境(地域、町の風習、行事など)も踏まえ、患者さんの一日の生活のみでなく、週、季節、年、将来に渡って評価する必要があり、そして、家族(障害への理解、ニーズに対する認識・依頼目的、関係性、介

護状況、負担)などをしっかり把握しアプローチすることが大切となるそうです。

多方面からのアプローチを行うことができる目線を持つことで、さらにその人らしい生活に近づけることができるのではないかと感じました。

面接技術については、鷹西先生自身19歳の時、事故に合われ頸髄損傷で障害を持っておられます。患者さんの目線から、私たちセラピストがわかっているつもりでも、わからない、気持ちや感情の流れを面接技術と共にわかりやすく教えてくださいました。「面接の技術=コミュニケーション能力」、「面接=明確な意図を持つもの」で患者さんや家族の方との信頼関係を築いていくのに、必要不可欠で重要となるものです。またリハビリでも、今後「どうしてやるのか、何に効果があるのか」など先の見通しを明確にし自立への意欲を引き出す方向を明確にすることが大切となります。

私たちセラピストにとって患者さんに関わり、自分らしい自立した生活ができるように支援するということは「患者を信じる、自分を信じる、場の力を信じる。」ことがとても大切なのだそうです。

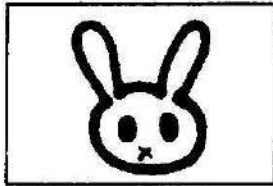
今後、訪問に行くことになった際には、今回の講義で学んだことを生かしていきたいと感じました。

## Activity 紹介

### 《ウールアート》（毛糸の貼り絵）

介護老人保健施設サンセリテ 古岡 優佳

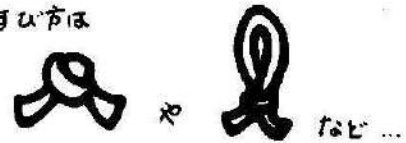
材料：のり付きパネル、毛糸各色（並太程度が使いやすいです）  
ボンドなど



ボードを好きな大きさにカット  
ぬり絵などを拡大して写し、太マジックで描く

#### 下絵を描く ①

むすむすは

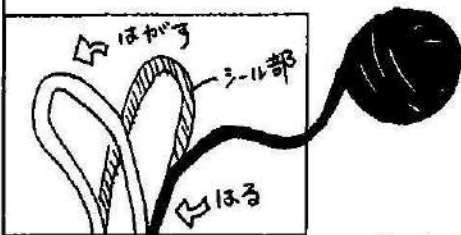


結んで切ると、やわらかくボリュームのある仕上がりになる。1 cm程度に切るだけでもOK。作る方のレベルに合わせて選んでください。切った毛糸は色ごとに分けておくと使いやすいです。

#### ② 毛糸を結んで、切る

#### 輪郭を貼る ③

下絵の枠線のみを切り取って剥がし、黒の毛糸で輪郭をふちどりしておく、貼りやすく、きれいに仕上がります。



#### ④ 毛糸を貼る

粘着力が落ちるので、必要な部分ずつ切り取って剥がしながら貼っていきます。細かい隙間などはボンドで補いながら貼って仕上げます。



## お知らせ

作業療法体験会開催 日 時：平成24年8月26日(日)10:00～12:00

場 所：呉西地区：私立砺波総合病院／呉東地区：富山労災病院

対 象：県内の高校生および保護者、高校教員

連絡先：呉西地区担当：作田清子 TEL：0763-32-3320

呉東地区担当：広野弘美 TEL：0765-22-1280

## 開業奮闘記(最終回「オープン2年後と重見スペシャル」)

リハビリ・デイサービスおやべ 管理者 北野 満

緊張のオープン初日(平成22年6月1日)は午前午後合わせて4名の利用者があり、しばらくは利用者よりスタッフの方が多い状況であったが、オープン月の6月は延べ人数100人、7月は200人、8月は300人と当初の予定通り順調に増えていった。オープン間もなくスタッフが自宅で怪我して長期離脱したり、酔っ払いが乱入してきたりのハプニングもあったが順調な滑り出しであったように思われた。7月上旬にはスタッフ全員で100人突破記念の飲み会も開くことが出来た。

現在(平成24年7月)、契約している利用者は100人を超えており、砺波総合病院や北陸中央病院などのリハビリスタッフのご協力もあって、1日の利用者数も午前午後合わせて定員の30人近くになっている。

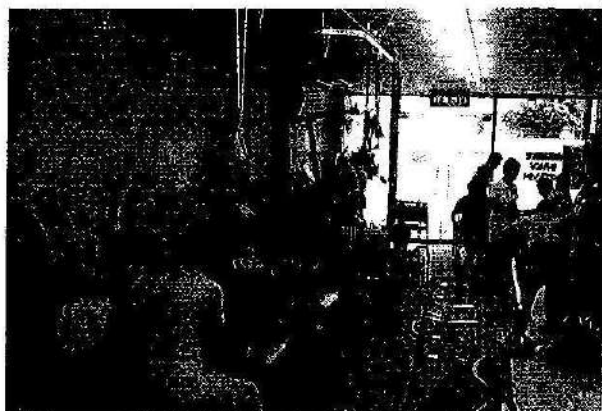
私自身、管理者として施設内でのリハビリはもとよりサービス担当者会議や病院の退院時カンファレンスへの参加、時には送迎と多忙な毎日を送っている。

今、パートも含めてスタッフは11人で運営しているが、当施設の運営責任者であるOTの重見涼子はリハビリの実践以外に送迎責任者も兼任しておりやはり多忙な毎日を送っている。高齢者が多いので腰が曲がってきたり円背になったりという

利用者が多く、背後から座位で腰や背中を伸ばす重見スペシャルは多くの利用者に喜ばれ多大な効果を上げている。大きなバルーンを使用するその秘伝テクニックを身に付けたい人は当施設内での見学OKです。

最後になりますが、開設にあたってお祝いやご協力を頂いたたくさんのOTの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。まだまだ課題も多く不安もありますが地域での高齢者、障がい者のリハビリの実践に励んで行こうと思っています。

2年にわたって拙劣な文章にお付き合いいただいた一部の皆様ありがとうございました。



## 「宮崎学会でのささやかな印象」と

### 「基礎医学部会研修会の講師折衝報告」

黒部市民病院 小倉 努

去る6月15日～17日の3日間、第46回全国学会(宮崎)が盛大に開催されました。季節柄、連日の雨模様ではありましたが、東学会長が開会挨拶で表明した通りの「(雨で外出できない分)会場内で、会期いっぱい大いに議論する学会」でした。

話を県士会に関することに移します。当士会からの発表登録は6演題で、その内、初発表の方は4名でした。全員の発表を応援に行くことができませんでしたが、皆さん元気に臨む姿が印象的でした。発表を通して大いに学んだことと思います。一方、僕が最終的に把握できた範囲ではありますが、富山県からの参加者は16名でした。例年、小

規模ながら発表前夜祭を行ってきましたが、今回は現地で参加が確認できた方々に声を掛けて、県士会員による懇親会を試みました(結果的には懇親会になったようなものですが)。遠い宮崎の地で、若い県士会員らと学会を肴にお話する貴重な機会を得ました。そして、豊富な話題を通していろいろな期待を感じ取りました。わずか8名の懇親会でしたが、「聞いて良かった」と振り返っています。一席を設けるにあたり、お店の予約を引き受けてくれた中沢先生、改めてありがとうございました。オーガナイズドセッションの発表もご苦労さまでした。

次に、今年度の基礎医学部会研修会での講師折衝経過を報告させていただきます。今年度は「認知神経リハビリテーション」をテーマに講師を検討しました。その結果「広島大学（大学院保健学研究科教授）宮口英樹先生」に講師を依頼する方向で意見が固まりました。宮口先生は、認知神経リハの先頭に立ち活躍されています。今学会でお会いする好機を得ましたが、気さくでおおらかな先生でした。「認知神経リハ」に於けるエキス

パート育成に向けた研修システムからも分かる通り、治療学としての基盤はとても大きいです。それ故に、講演内容はこれからじっくり詰めて行く予定です。日程調整も課題ですが、先生からは「雪の季節でも大丈夫です！」と頼もしい返事を頂戴しました。是非、多くの方々が参加されることを期待します。会期・内容は決まり次第、案内させていただきます。

### 平成24年度 第3回理事会

場所：富山医療福祉専門学校

日時：平成24年7月9日(月)19:00～

参加者：田村、作田、浅生、高岡、田邊、谷口、橋爪、丸本、広野

以下の事について検討し、承認された。

#### 〈報告事項〉

1. 富山県厚生部（担当健康課）より表彰候補者の推薦 書類送付済  
・富山県部門功労（公衆衛生事業功労）－田村氏  
・いきいきとやま健康と長寿の祭典大会長表彰（健康増進部門）－北野氏
2. 7月28、29日「第10回協会・都道府県士会合同役職者研修会」丸本、松本氏参加
3. 「ミリオンカップ2012」車椅子バスケットボール競技大会－協賛せず
4. 24年度会員名簿作成－会員数494名
5. 平成24年度地域医療再生リハビリ従事者業務啓発事業費補助金30万円交付
6. 発達部会8月4日の「特別支援教育に関する研修会」－富山県教育委員会後援の承認
7. 訪問リハ研究会－「STEP3」6月30日、7月1日実施  
PT・OT・ST合わせて57名参加、うち20名がOT
8. OT協会より富山県所属強制退会者（会費未納）一覧、倫理問題の会員の処分通知
9. 富山県保険医協会より9月30日(日)に石川誠先生を呼んで地域リハビリテーションについて研修会を予定、その内容についてPT、OT、STの検討委員選出要請あり→検討委員会に田邊氏参加7月10日(火)19時より電気ビル4階会議室
10. 自民党富山県連からの送付資料－がん対策の

充実に関する知事への申し入れ

11. 県OT学会進捗状況 午前中は講演予定、午後からactivity教室3か所同時開催、その後、ポスター発表を計画。8月に演題募集の案内を出す予定。
12. 東海北陸作業療学会進捗状況 特別講演・教育講演・シンポジウムの講師概ね確定、セミナーも一部講師確定しているが、精神・発達・訪問リハについては検討中。

#### 〈検討事項〉

1. クリアファイル完成－使用方法  
高校生OT見学会用100枚使用－現段階で参加申込み約90名、またOT体験会申し込み約10名。クリアファイルの中に、協会パンフレットを入れて配布予定。また、他職種に対してOT紹介時に配布予定。
2. 富山県厚生部健康課・自殺予防に関する研修会  
日時：3月17日(日)13:00から研修会、その後総会開催予定  
会場：サンシップ  
講師：小高真美氏 独立行政法人精神・神経医療研究センター 自殺予防総合対策センター
3. 社団法人精神保健福祉協会より平成24年度富山県精神保健福祉大会長表彰候補者の推薦依頼 国立病院機構北陸病院 西尾氏に打診中
4. リーダー養成研修会開催予定  
9月8日(土)午後14:00～9月9日(日)午前11:30  
場所：和倉温泉 のと楽（七尾市）県士会員から5名の参加予定。
5. 福井県士会より北陸3県で地域リハビリテーションに関する検討会「北陸三県 地域リハビリテーションサミット」の開催への協力依頼 再度、開催経緯を確認し、協力するかを検討する。



## 新入会員の横顔

1. 名前
2. 施設名
3. 出身校
4. どんなOTになりたいか
5. お勧めの店or場所とその理由
6. 最近ハマっていることorもの
7. 私の好きな言葉（座右の銘）
8. 今年チャレンジしたいと思っていること



1. 田畑 梨杏里
2. 富山県高志リハビリテーション病院
3. 日本福祉大学
4. グローバルなOTになりたいです。
5. 監獄 in食41房  
愛知県名古屋市中区栄5丁目8-6 ワシオビル1F

理由：牢獄風の個室でもおいしい料理やドリンクをいただけます。また、毎日ホラーショーがあり、誰と行っても楽しめます。さらに、獄中パースデーコースなどがあり、死神が誕生日を祝ってくれるサプライズもあります。

6. ござにはまっています。
7. 笑福（笑う門には福来たる）
8. 立山登山にチャレンジしたいです。



1. 脊戸 勇輝
2. 富山県高志リハビリテーション病院
3. 新潟医療福祉大学
4. 身体機能面だけに囚われず、その人その人の生きがいや個性を大切に、しっかりとその方のQOLにアプローチできるセラピストになりたいです。

5. 場所：楓（らーめん）理由：ラーメンおいしいです。はい。
6. ラーメン屋巡りです。
7. 「適当」です。
8. スノーボードを始めようかと。



1. 杉本 佳織
2. 富山県高志リハビリテーション病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 毎日笑顔で自分の仕事をきちんとこなせるOTになりたいです。
5. じゃん鬼 とんこつラーメン大好きです。

6. くまのがっこう ジャッキーグッズを集めること
7. 成功は保証されていないけど、成長は保証される
8. ETCをつけて日本中旅したいです。



1. 春日 祐乃
2. 富山県高志リハビリテーション病院
3. 新潟医療福祉大学
4. 患者様の全体像を捉えて、柔軟な発想を持って最適な作業療法を提供できるOTになりたいです。
5. 豚豚炉：人気ラーメン店なのに、同期のサプライズ

誕生日パーティーに快く協力してくれたから。

6. スマーフ（かわいい外国のキャラクター、iPhoneにゲームがあります）
7. 一生勉強！一生青春！
8. 旅行が大好きだけど、外国には行ったことがないので、今年こそは海外旅行に！



1. 大谷 昌子
2. 老人保健施設チューリップ苑
3. 金沢リハビリテーションアカデミー（金沢脳神経外科病院）
4. 利用者の方々に元気を与えられるOT
5. グリーンモール山室の『ワンラブ』（ペットショップ）子犬や子猫に癒されます。

6. 自転車（ママチャリ通勤）
7. 切磋琢磨
8. 色々な温泉に行って、癒されたいです。



1. 橋本 侑樹
2. 富山県高志リハビリテーション病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 自分の特色を持ったOT
5. 宇奈月温泉 地元のため
6. トレーニング、野球
7. 一日一笑 日々感謝
8. サッカー、腹筋を6つに割ること！



1. 岡部 愛
2. 社会福祉法人セーナー苑
3. 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
4. 対象の方、1人ひとりの笑顔を引き出せるOT
5. 「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」理由：旧福野町の祭りですが…多国籍の方々が参加され、雰囲気

のある屋台も沢山あり、見るだけでも楽しめます。

6. ドライブ
7. 相田みつをさんの「幸せはいつも自分の心が決める」
8. 登山





1. 蒲原 正則
2. 光ヶ丘病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 確かな技術と笑顔を提供できるOT
5. 脇田屋 メニューにないカルピスのピッチャーがOKだから。
6. 特にないです。
7. 全ては一瞬の喜びのために
8. 毎週スノーボードに行く



1. 三田 純子
2. 富山医療福祉専門学校
3. 都立東大和療育センター
4. それぞれの方々が違う暮らしや願いの中で、それぞれの生活を一緒に考えていけるようなOTになりたい。
5. MALAIKA エスニック雑貨が店内に所狭しと並んでいます！
6. インド映画&音楽
7. 一期一会
8. 自給自足の第一歩、野菜作り。



1. 寺村 健
2. 医療法人 社団老人保健施設 葵の園 なんと
3. 富山医療福祉専門学校
4. チームから信頼されるOTになりたいです。
5. はじめ屋(ラーメン屋さん)
6. ボルタリング つい最近はじめました。
7. 成せば成る
8. 子供とプールデビュー 子供とスキーデビュー



1. 天野 洸平
2. 西能病院
3. 専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー
4. 知識・技術・人間性ともに信頼のおけるOT
5. BLANCO (美容院) 店員がおもしろいから
6. 外食
7. 一期一会
8. パラグライダー



1. 横山 哲之
2. 富山大学附属病院
3. 平成医療専門学校
4. 富山弁のしゃべれるOT
5. 地元のホテルが見える場所。小学生の時学校で育てていました。たくさん見えますよ。
6. 理想のトマト(トマトジュース)
7. 一日一歩
8. 富山県の市町村全制覇!!



1. 波 文奈
2. 介護老人保健施設みしま野苑一穂
3. 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
4. 対象者の方の心に寄り添い、その人らしい生活が出来るよう関わりを行っていただけるようなOT。
5. おうち食堂comiu 理由：ランチメニュー等、値段安くて美味しく、店内の雰囲気がとても落ち着いているため。
6. 買い物・ドライブ
7. 今起きているのが最善の事
8. 自分の運転での速出。



1. 山田 愛子
2. 富山県済生会高岡病院
3. 藤田保健衛生大学
4. 患者さんが安心して喜びや不安を話してくれるようなOTを目指しています。
5. 水族館 理由:癒されます!
6. ゴルフ
7. 一期一会
8. パラグライダー



1. 谷田 恵衣子
2. 八尾総合病院
3. 星城大学
4. 笑顔いっぱい、頼りがいのあるOT
5. 稲葉山 理由：自然を感じることができる。夜景がきれい。
6. 旅行・観光地巡り
7. 「押してダメなら、ひいてみな」
8. ①言葉を使わない思考を持つこと。②温泉巡りでリラックスすること。



1. 浅野愛子
2. 八尾総合病院
3. 木沢記念病院 (岐阜県)
4. 発想力豊かなOT
5. ずっと岐阜に住んでいたの、岐阜・名古屋が詳しいです。お勧めの場所は名古屋市科学館、郡上八幡。科学館は大人も楽しめ、郡上の徹夜踊りは気分が盛り上がります。
6. 山登り
7. 一期一会
8. ボルダリング

新入会員のみなさん、これから同じ仲間としてがんばりましょう。  
今回載せられなかった方は次号に掲載します。まだ提出されていない方は、次号までお願いします。

## OTを取り巻く状況

田村 良子

7月の理事会報告にありますように、富山県より県士会に対して「平成24年度地域医療再生リハビリ従事者業務啓発事業費補助金」が交付されることになりました。主に作業療法の普及事業である高校生の作業療法見学会、体験会および健康と長寿の祭典での一般県民への啓発、他職種への啓発に使えるお金です。啓発用に、以前に皆さんに配布したOT協会の作業療法のパンフレットもありますが、県士会員の作業療法場面を写真で載せたリーフレットを作成したいと考えています。

リハビリテーションという言葉はよく聞かれるようになりまし、多くの職種がそれに携わるようになっていきました。「生活の再建」ですから、いろんな側面から支援していく必要があるのが当然のことですが、「作業療法士は何をする人？」が見えにくくなっているようにも思えます。これを機会にわかりやすく伝え、作業療法を活用してもらえようになれば幸いです。また、県士会クリアファイルもできました。他職種への研修会をされる際は資料入れにして宣伝に使ってください。

「生活の再建」と書きましたが、やはりこれは並大抵のものではないと思うようになりました。私自身が、4月から週2回の勤務になり、これまで義母がしていた食事の用意などの家事を引き受けることになり、時間の使い方、役割、仕事など様々な違いを受け入れ慣れるのに苦労しているからです。患者さんも病院のリハを終え、病者から生活者になった時、多くの戸惑いや困難を感じているのだらうと察します。「退院後の生活を見据えて」とは言うものの、どこまでの確に捉えることができるのでしょうか。太田仁史先生が言う「ソフトランディングな移行」の重要性、また地域や実生活の中で細やかにフォローできる体制の必要性を実感しています。

## 賛助会員名簿

(順不同)

| 会 員 名 (代表者)                        | 住 所                                               | 備 考               |
|------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------|
| 温泉リハビリテーション<br>いま泉病院<br>(理事長 大西仙泰) | 〒939-8075<br>富山市今泉2 2 0<br>T E L 076-425-1166     |                   |
| (株)ウ イ ル<br>(代表取締役<br>黒田 勉)        | 〒939-0311<br>射水市黒河3075<br>T E L 0766-56-7099      |                   |
| 酒井医療(株)<br>金沢オフィス<br>(リーダー 小本章)    | 〒921-8036<br>金沢市弥生2-6-16 1F<br>T E L 076-241-5721 |                   |
| 平 野 重 喜                            | 〒930-0008<br>富山市神通本町2-3-7<br>T E L 076-432-6617   | (有)<br>クラフト<br>工房 |
| 富山医療福祉専門学校<br>(学校長 辻 政彦)           | 〒936-0023<br>滑川市柳原149- 9<br>T E L 076-476-0001    |                   |
| (有)スギマサ洋装店<br>(代表取締役<br>杉政正規)      | 〒930-0083<br>富山市総曲輪3丁目7-9<br>T E L 076-421-3444   |                   |

## 編集後記

「最近、ランニングしている方、増えてきましたね。私も、出産後ランニングを始め、はまってしまいました。仕事や育児でヘトヘトの毎日で、さらにランニングなんて!?と思っていたのですが、逆に、ストレスは発散され、スタミナもつき、仕事でも疲れにくくなったように思います。達成感もあり、毎日の生活に張りが出てきました。ホントにオススメです!!」